

コンベリング装置

マトコンのコンベリング装置は、IBCのコンバルブを排出口に水平に深く嵌合させるために用います。(IBC = Intermediate Bulk Container 仕掛品用粉粒体コンテナ)

レリングの必要性

プロセス装置が負圧で運転されている場合や、排出量が制御できずバサッと仕掛品を落とし込む場合に、IBC内のコンバルブが傾いたり動いてしまう可能性があります。IBCへの充填前、あるいは混合前に、IBC内のコンバルブを正しい位置に保持したり、矯正することが望まれます。(留意事項:コンバルブが少々傾いたままでも粉漏れが発生しないようにIBCの排出部は設計されています。)

レリング

コンバルブが傾いているIBCをレリングステーションに搬送します。

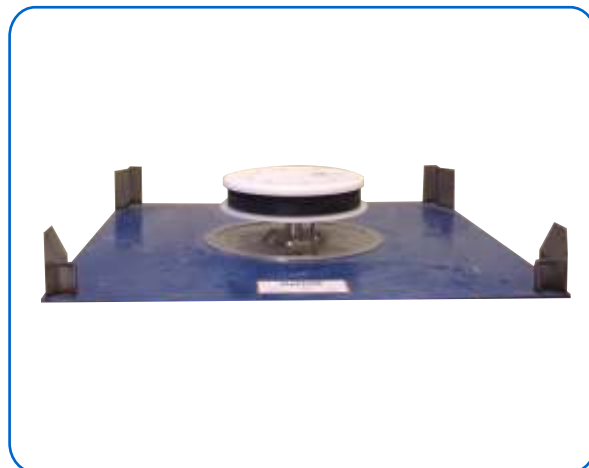
IBCをレリングステーションに降ろすと、コンバルブがプロフに接触します。エアシールを膨張させてプロフがコンバルブをロックします。

ロックするとプロフとコンバルブの間を真空状態にしてコンバルブを下降させると共に水平状態に傾きを矯正します。この操作により、コンバルブをより深くIBC排出部に引き込みコンバルブの接触面積を増加させます。

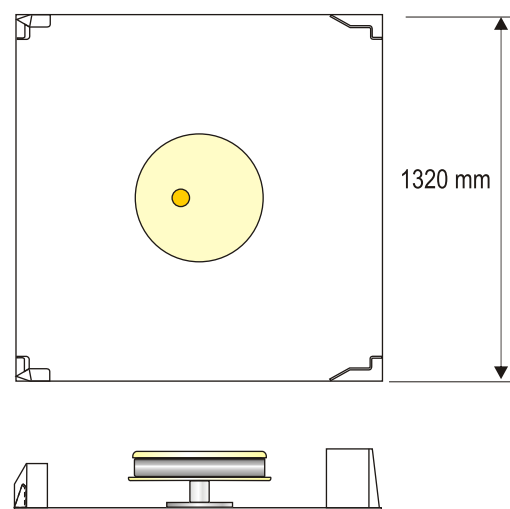
真空状態とエアシールが開放されるとIBCを搬出することができます。

仕様

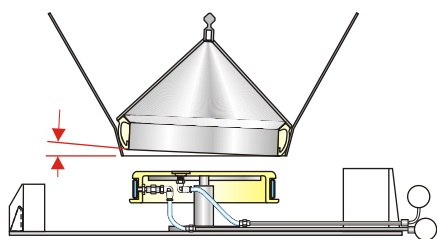
標準のコンベリングステーションはステンスチール製ですが、軟鋼製として塗装メッキ仕上げとすることも可能です。また、IBC充填秤量ステーションと一体化することや、IBCフレンド-のマニアル操作コンバルブクランプ機構と交換することも可能です。



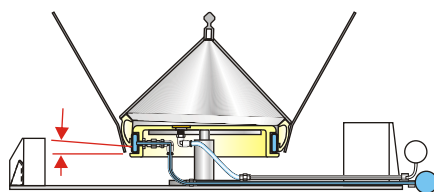
平面および側面



1) IBC をステーションに搬送



2) IBC 排出部とレリング装置がロック



3) レリング装置とコンバルブ間を真空吸引しコンバルブが水平に

